

社長令嬢・被虐のバカンス

【野外調教編】

昭和猟奇譚
女犯仕置人哲夫

作画・うきぎね工房

Nightmare Express—悪夢の宅配便

時は昭和末期…
初夏の香りが
漂い始めた季節。

都内某所に大企業を
一代で築き上げた
社長の豪邸があった。

…今回の物語は
ここから始まる。

…お嬢様、
どげらへ？

伊豆の別荘…
付き添いは
いらさないわ。

一週間くらい
一人でのんびり
過ごすつもりよ。

倉崎綾乃(23歳)
…その大企業の
社長令嬢である。

…心配
ないわ。

…お気を付けて
行って
らっしゃいませ。

綾乃は社長の一人娘として
何不自由のない贅沢三昧な
暮らしを過ごしていた…

溺愛する娘に社長は
高級マンションや、
スポーツ外車などを
望むままに与える。

この避暑地の奥深くにも
綾乃専用と言ってもよい、
別荘が建てられていた…

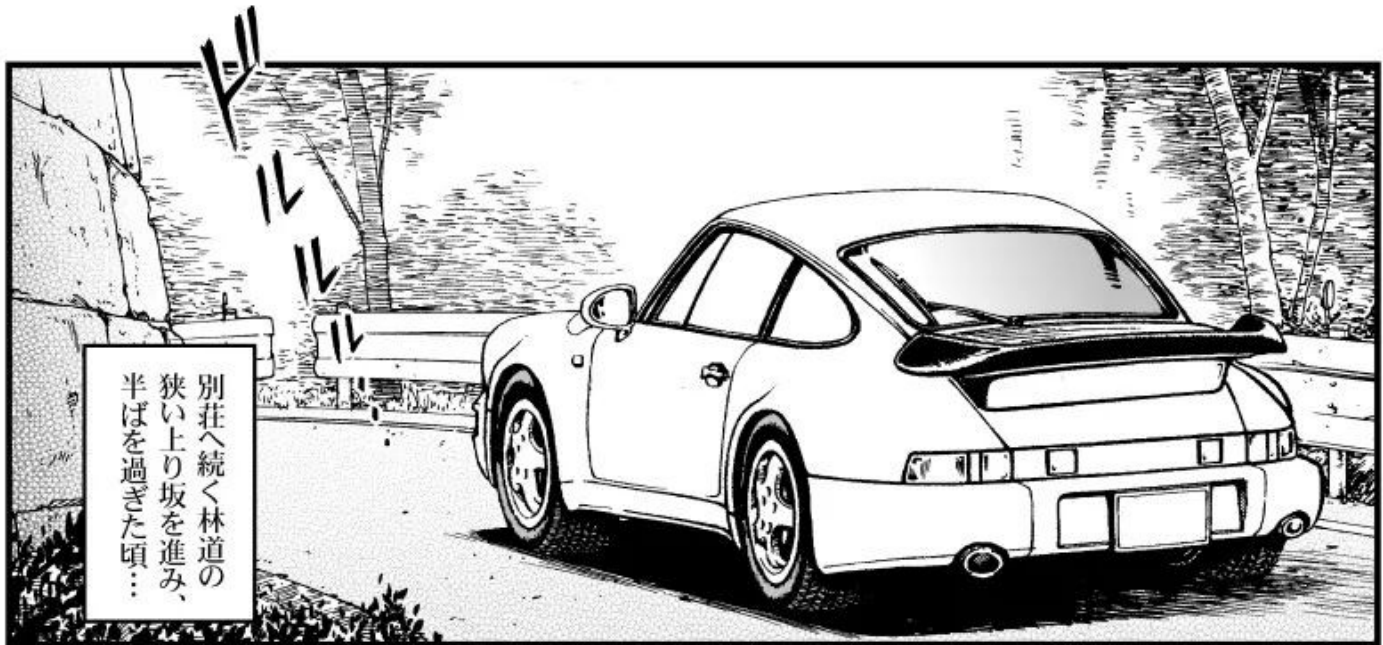
毎年夏になると綾乃は
この別荘で一人だけの
気ままな余暇を愉しむ
ことにしている…

別荘にはあらかじめ
必要な物資が用意され、
管理人や使用人にも
休暇を出してあった。

高級別荘地の一带に
近づくとも交通量も
まばらとなり快適な
ドライブとなる…

やがて車は別荘のある
山間の側道へと
分け入って行った。



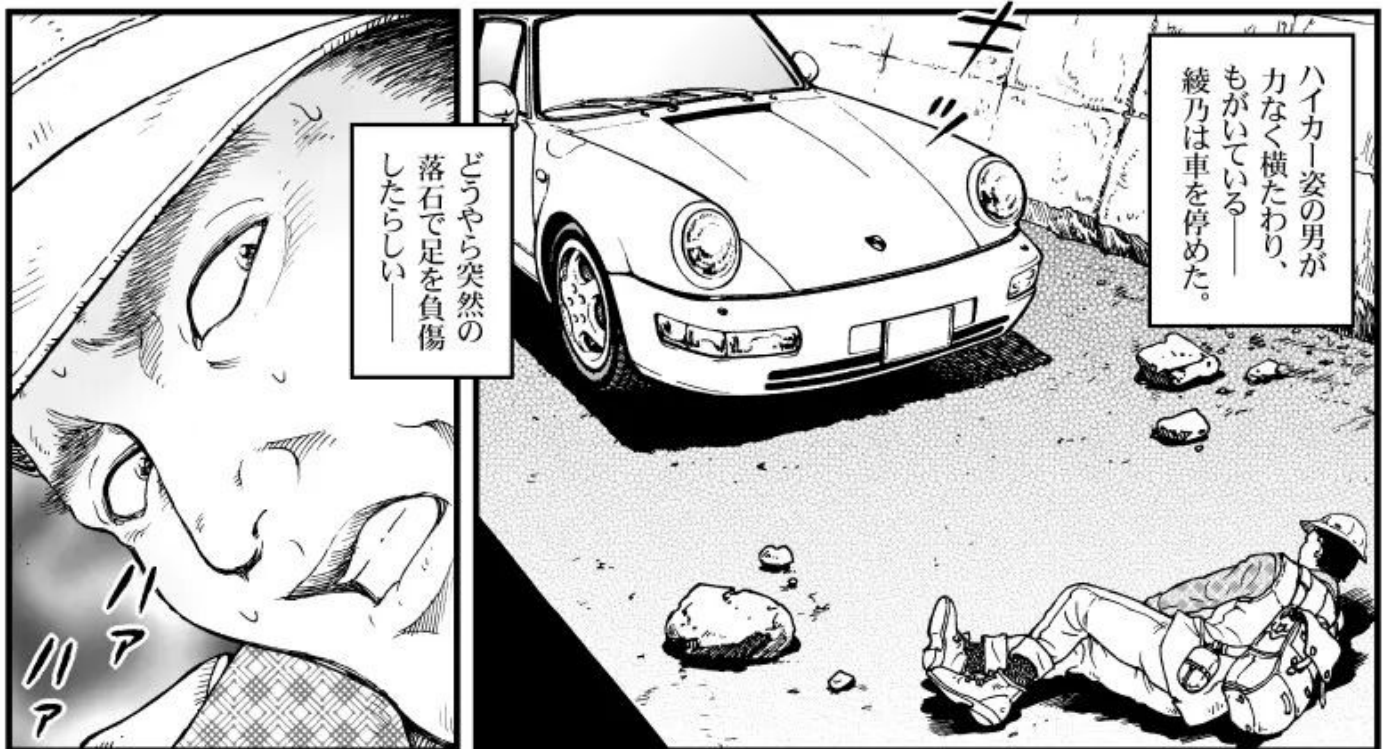


別荘へ続く林道の
狭い上り坂を進み
半ばを過ぎた頃…



綾乃は路上の
ソレを眼前に
発見した。

!!



ハイカー姿の男が
力なく横たわり、
もがいている——
綾乃は車を停めた。

どうやら突然の
落石で足を負傷
したらしい——

ハア
ハア

携帯電話で簡単に
救急車が呼べる
時代ではない――

…大丈夫
ですか？

あ、
ありがとう。
助かった…

綾乃は弱った
その初老の男を
車で運んでやる
ことにした。

ガ
ッ
キ
ャ

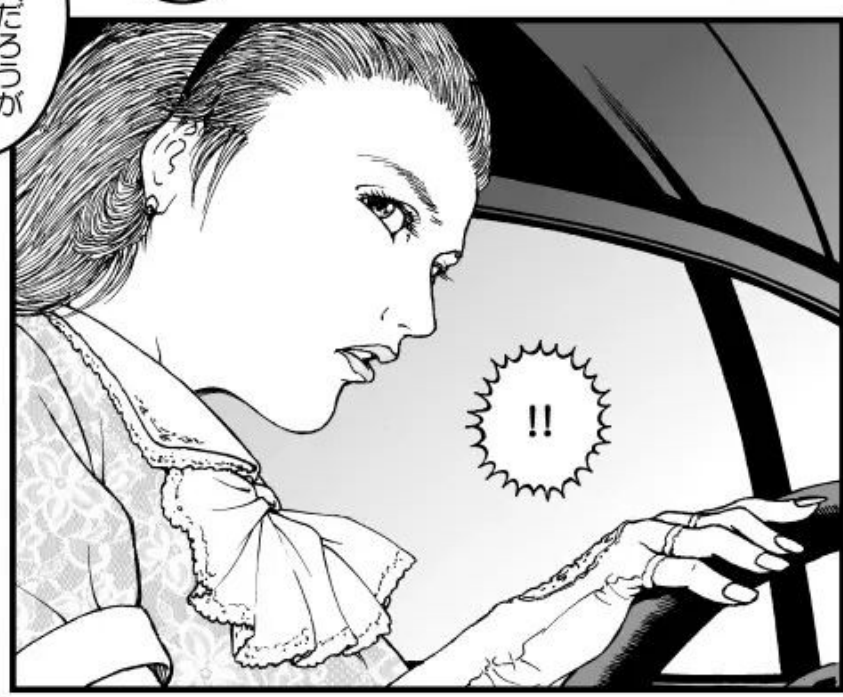


親切にしてくれた
お礼にいいことを
教えてあげよう…

ケガ人だろうが
年寄りだろうが
…

見ず知らずの男を
簡単に受け入れる
もんじゃないぜ！

!!







縛りには手首を保護できてお逃え向きだな。

男は綾乃を車から下ろすと両手を縄で縛る。



ここからはオレが運転する。助手席に移りな。

……

ふふ……こじや日焼け止めのドライビンググローブか？



俺はただ、御令嬢とひと夏のバカンスを楽しもうと思っただけ。

ヒッ!?



思わず綾乃は駆け出した。



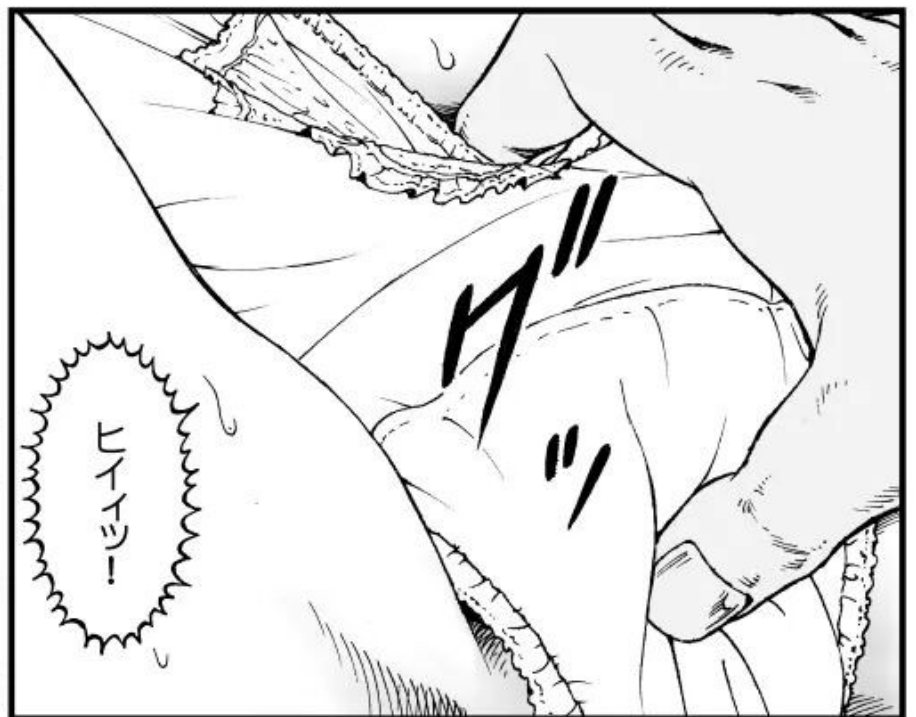
……おいおい金なんて無粋な話はやめてくれ。



こ、こんな事をして……

目的はお金？





な、何
すんの!?

あ、あ
き、あ
っ

思ったよりも
ジャジャ馬な
御令嬢だな...

コイツは調教
しがいがある
... ってもんだ。

や、
うん

ふんふん...
いじらしくも
可愛らしい。

トイツー!



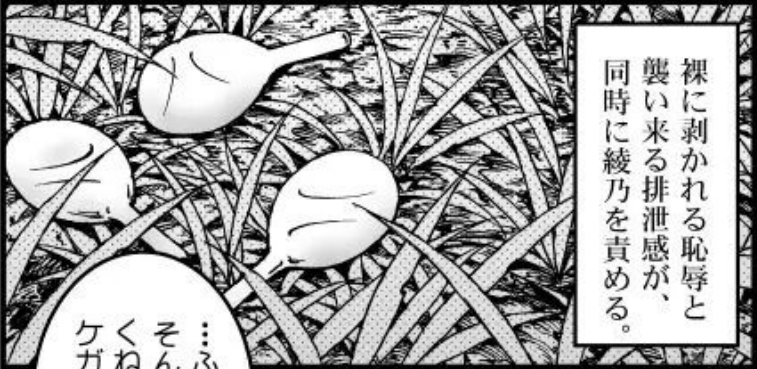




男は容赦なく
綾乃の着衣を
引き裂く――



裸に剥かれる恥辱と
襲い来る排泄感が、
同時に綾乃を責める。



……ふふふ、
そんなに軀を
くねらせるこ
ケガするぜ。

ンンン
ッ

ウウッ



悶え苦しみ呻く綾乃の
表情を楽しみながら、
男は純白のスリップも
切り裂き落して行く……

十分……二十分……
果たしてどの位の
時が経過したのか。

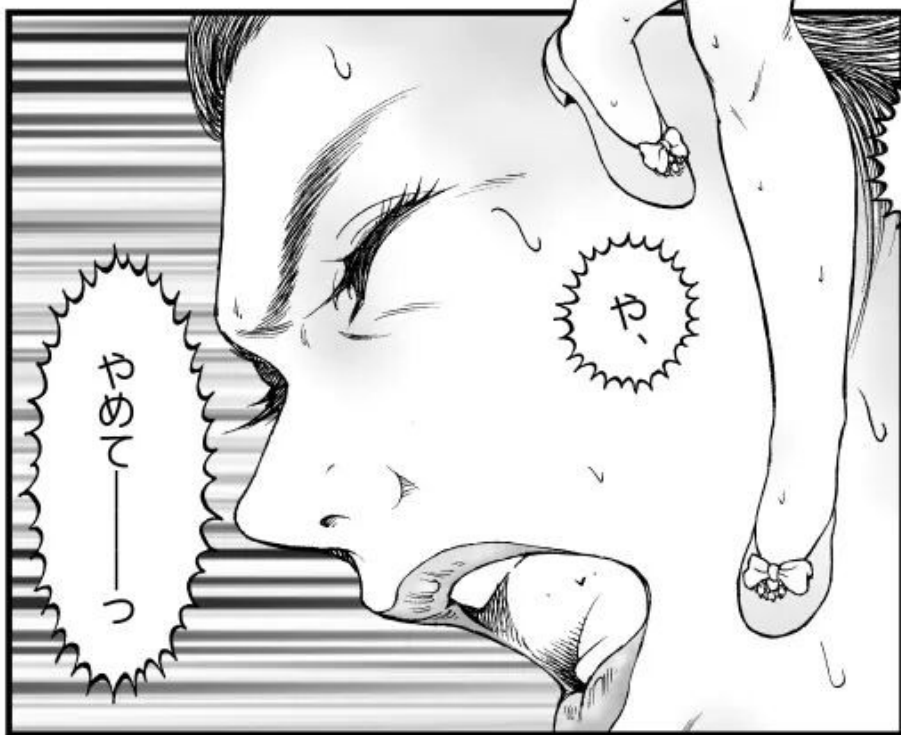


……耐え続ける
苦しみの中で、
時間の感覚が
失われている。





躰を振らせ
呻きながら、
綾乃は必死に
耐えている…





だ、ダメ
ーッ！

も、もじ
…で…っ

あ、あ
っ

ついに自尊心を
崩壊させる限界の
波が綾乃を襲った。

小便まで大量に溜め込んでたか

んん
っ

令嬢だろつが
売女だろつが
出すモノは
変らねえなあ。

そのせいで、
残らず全部
絞り出したな。

：随分派手に
吹き出させて
くれたもんだ。

腹奥から全てを
絞り出しきるまで、
長い時間をかけて
綾乃は呻き続けた。

んん…

じじ…じ



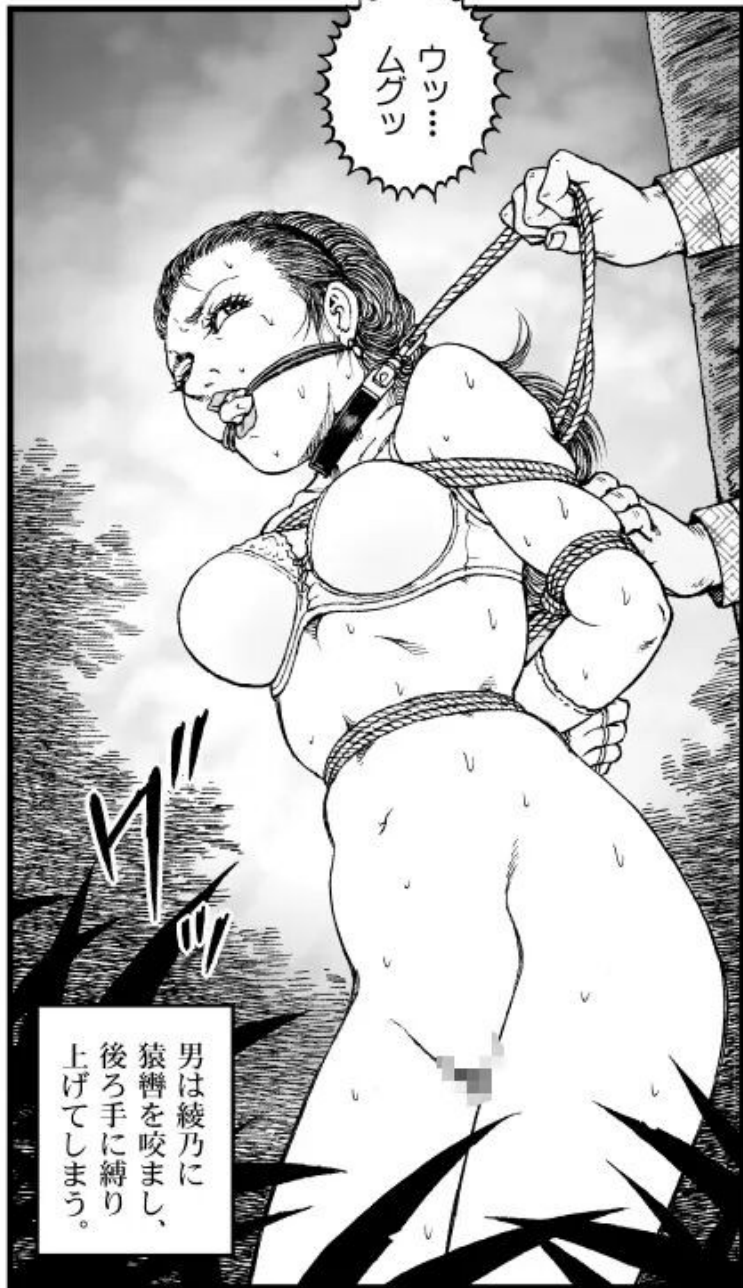




その汚れた尻を
キレイにして
おかないとな…

ン…
ン…
ン…

…そこでは小さな
溪流が冷ややかな
飛沫を上げていた。



ウツ…
ムケツ

ン
ン
ン

男は綾乃に
猿轡を咬まし、
後ろ手に縛り
上げてしまう。



こつちだ。
足元に気をつ
けるよ！

近場にあった沢へ、
綾乃を追い立てて
行く男…

ハア
ハア



その尻を
もっと尻を
突き出せよ。

うっ
うっ
うっ



男の素手が
綾乃の局部に
冷たい清流を
浴びかける…

うっ
うっ
うっ



男はポケットから
小さなチューブを
取り出した。

前後の穴、
…両方に
塗ってやる。



うっ!
うっ!

ちよいとした
穴調教用の
クリームだ。



…ようし、
キレイに
なったな。

立ち上がって
尻をこっちに
向けな—



クリームを塗り
込まれた割れ目に、
荒縄がヌルヌルと
喰いこんで来る…

どうした？
——早くも
ムズムズして
来たかな？

だが、これから
もっと強烈に
効いてくるぜ…

クウ…ッ



さあ、車の
所まで散歩と
洒落込もうぜ。

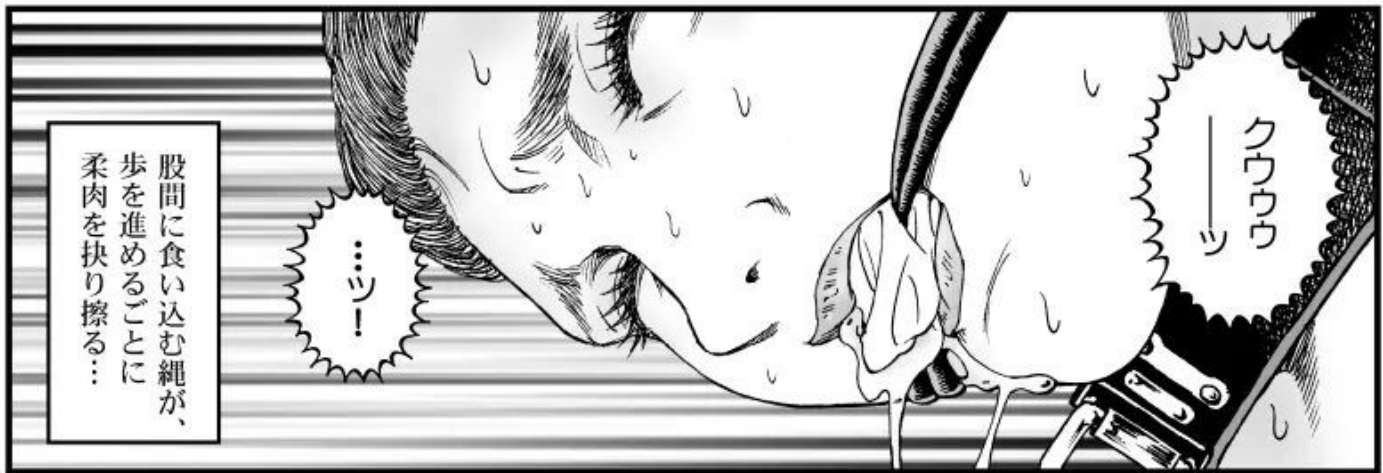
——ほら、
さっさと
歩くんた。

グ…
ン…ッ

男に首縄を曳かれ
足場の悪い獣道を
よるけながら進む
綾乃——

ン…
ン…
——ッ





股間に食い込む縄が、歩を進めるごとに柔肉を抉り擦る…

…ッ!

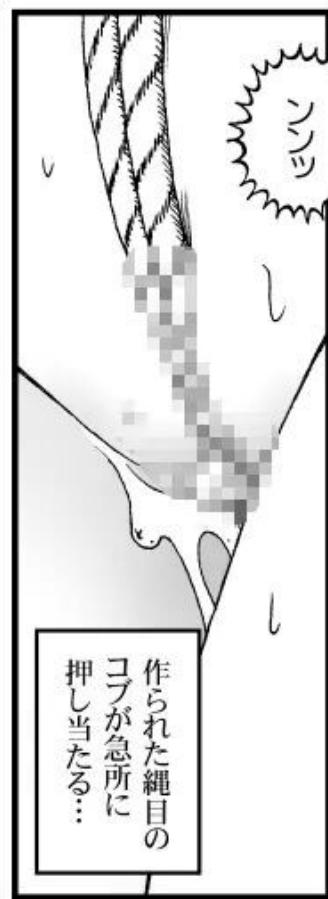
クワウウウ



もがくほどに、淫繩が秘所を責め立てる…

呻きとも喘ぎとも聞こえる悲鳴が、林の中に響いた。

ンンン



作られた縄目のコブが急所に押し当たる…

ンンン



一歩ごとに股繩が潜り込んでくる。



そろそろ、しつかり歩けよ!



…ゲ、
げほっ



綾乃はようやく
車の場所まで
たどり着いた…

散歩はお気に
召したかな？

ん…
んっ



なんだかんだで
お楽しみだった
ようだなあ…



お、お願い
もう…
…いやっ

ずいぶんと
派手に濡ら
したもんだ。

…あっ、
ああっ



男は局部を
指で払げて
覗き込んだ。



ん…っ

股縄を緩めると、
トロリと透明な
蜜が滲み滴る…

グッ
グッ



…いい事を
教えてやるじ。

ふふふ…
クリームの
せいだと？



…あ、ああつ、
おかしな薬を
塗られたから…

ハア
ハア

んん…



え…っ!?

こいつは、
ただの保湿
クリームさ。



ふ…とんでもない
淫乱マソの性癖が
暴露されたもんだ。

そつと解れば
遠慮なく責め
させて貰おう。



う、うそ
そんな…



—つまり、
薬効じゃなく
ただの暗示だ。

お前の舐めの中に
いる被虐の蟲が
発情してたのさ。



男は綾乃に
アナル責めの
金属フックを
ねじ込んだ！

ハイッ

ズッ
ズッ

ひっ...



こいつで少々
飼い馴らして
おくとするか。

どんな女も
従順になる
代物だぜ。

ズッ



いやあ——っ！

な、なんでも
言ひつゝ早く
から許して！

ズッ
ズッ



フックの紐を
引き絞っては
揺さぶる男！

や、やめて、
外してえっ

んん
んん
っ



その尻を、
しっかりと
舌を使い。

男は綾乃を
跪かせソレを
啜えさせる…

ウググ
△…ッ



…それじゃ
俺のモノを
しゃぶって
貰おうかな。

…す、
するから
お願い！

あぁっ



男はアナルフックで
追い立てながら綾乃に
口唇奉仕を続けさせた。

— ようし、
案外巧いぞ。
その調子だ。

いいか…逃げ
ようとしても
ムダだぜ。

この辺の地理や
別荘の状態やら、
色々情報は手に
入れている…

とある『依頼人』にあんたを無茶苦茶にしてくれーと、頼まれたツテだね。

ソレが俺の仕事なんだ。

べっぴん風で『無茶苦茶』にするかは、俺の気分次第だけ…

…そいつ『契約』になっている。

気に入れて奉仕した方が身の為だな。

…ぐっ、むぐぐ

裏に、この襲撃を計画した謎の人物がいると匂わせる男：

尻穴が裂ける前にさっさと俺様をイカせるんだな

フックの紐を手綱のように操り引く男：

むっ、ソーツ

…なんだ、全然ダメじゃないか。

…んん、んん、…っ！



ううう!!

フェラ中でも
自在に放尿
できるのや。

——俺様の
ちよいとじた
特技でね…



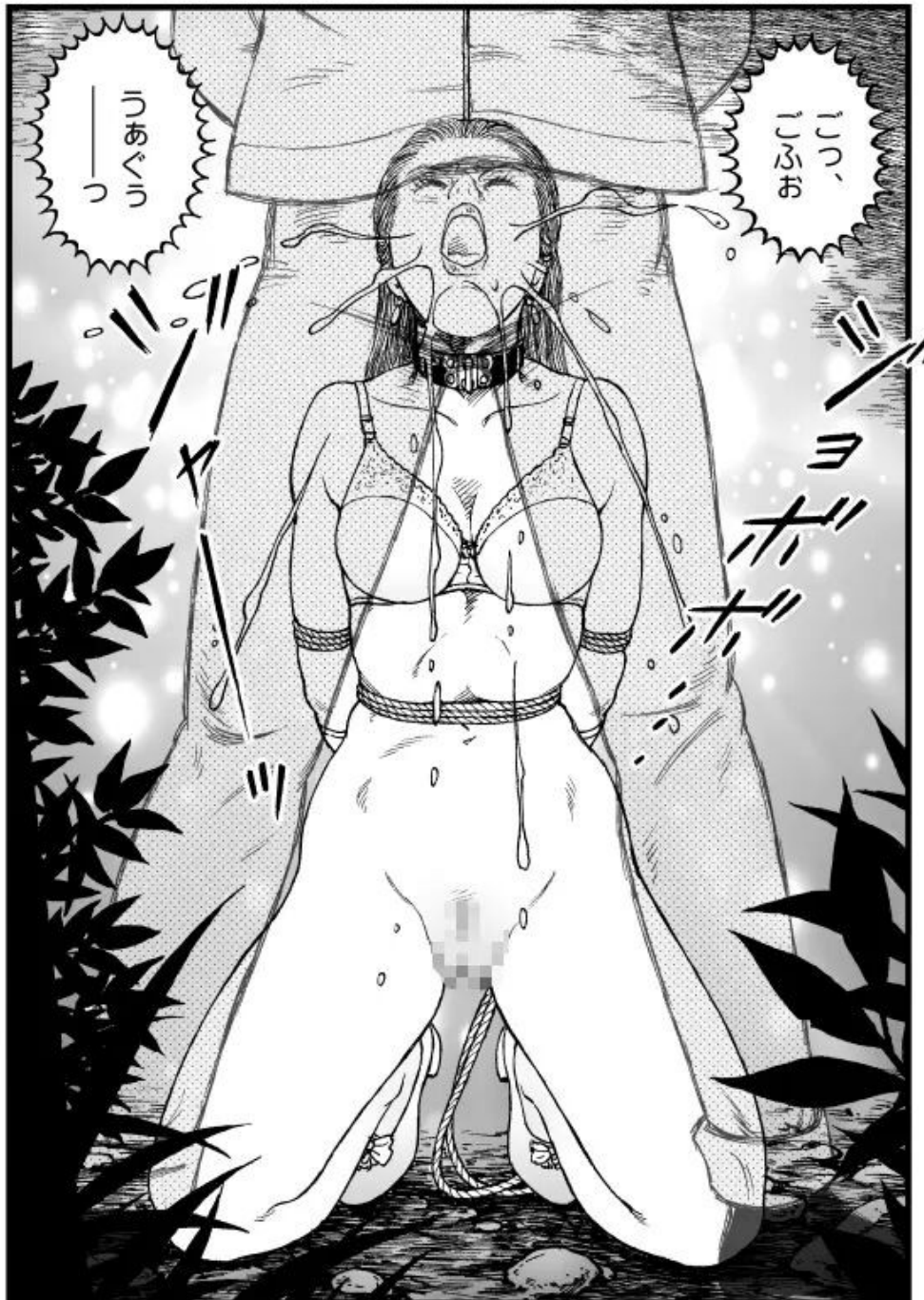
退屈すぎて、
なんだか
小便がしたく
なってきたぜ。

!!



便器にされた
気分はどうだい、
お嬢様……ふふ

プライドも何も
あったもんじゃ
ねえなあ——



うあへう

ううう
うふお

ここからが
本番だぜ…

自分でブラを
外して乳を
出して見せろ。

!!

ぐずぐずしていると
またフック責めを
食らわせるぞ…!!

抵抗する気力も
無くしたように
綾乃は男の指図に
従って行く—

ふん—
悪くない
乳形だな。

…い
い
い
ちゅー!

声を出すな。
これを口に
啜っておけ。

うん…っ

…絶叫と共に
ブラが落ちた。

落したな？

…約束通り、
後ろの穴に
突っ込むぜ。

男は怒張を
引き抜くと、
そのまま後門に
押し込んで行く。

や、やめ
てーっ

ひ、ひ、ひ、ひ、ひ

押し広げられる苦痛と、
内臓を掻き回される
おぞましい感触に、
呻きと悲鳴が上がった。

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

い、いやっ、
だめっ、あ、
ああああ
っ！

んんん
っ

あ…
あめっ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

放出を終えると、
男はゆっくりと
肉棒を引き抜く。

ふふ…尻の中に
たつぷりと
注がれた気分は
どうかな？

コレくらいじゃ
全然満足して
ないって顔だな
— クククッ

もう一度
コイツを
使うか…

!!

中身は全部
出した後
だからな…

も、もう
やめて…

お前の尻穴で
汚れた肉棒だ。

…しゃぶって
キレイにしろ。

んん…っ

洩らしても
出るのは
ザーメン
だけだろっ。

む…っ
じゅ…っ



い、いやっ
と、止めてっ！

——めっ、
んんん

…男は綾乃を車の
助手席に押し込み、
縛り上げてしまう。



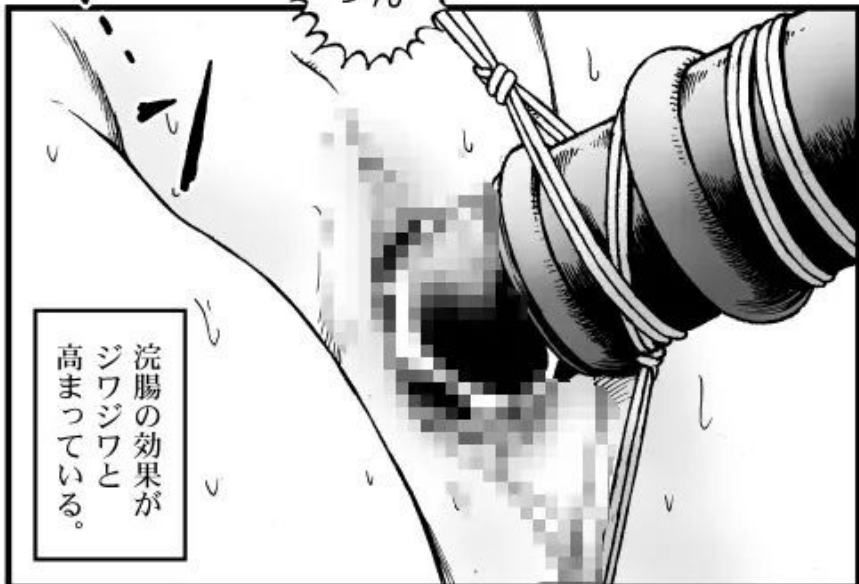
や、やめ
……てっ

そして黒光りする
パイプを突っ込み
紐で固定する……

あんん
っ



必死にアヌスを
締め上げれば、
パイプを自ら
啜え込む動きに。



浣腸の効果が
ジワジワと
高まっている。

フ

—やがて
車は別荘に
たどり着く。

よし、
着いたぜ。
降りな!

その前に
こいつを…

ふふ…

……
う

…鬱蒼とした
周囲の森林に
不釣り合いな
建物があつた。

ここが綾乃の
別荘である…

ククク…今は
誰もいないと
確認済みだぜ。

御令嬢の調教には
もってこいの環境
じゃないか—

お互い、
たつぷりと
愉しもうぜ
—フフフ。

